

第13回 なにわ歴史シンポジウム 開催概要

□第1部：基調講演 □
「『CGによる明治・大正期の道頓堀街並み復元』をめぐって」
講師：藪田 貫氏（関西大学教授・大阪都市遺産研究センター長）

「明治・大正期道頓堀の劇場建築の復元」
講師：橋寺 知子氏（関西大学准教授・大阪都市遺産研究センター研究員）

「歌舞伎の演出と大阪の舞台美術」
講師：児玉 竜一氏（早稲田大学教授・坪内博士記念演劇博物館副館長）

□第2部：パネルディスカッション
「江戸から明治・大正期の道頓堀と芝居」
(パネラー：藪田氏・橋寺氏・児玉氏)

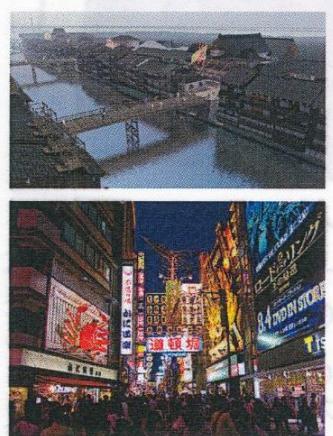
第13回 なにわ歴史シンポジウム
上町台地未来遺産フェスタ
『テーク』道頓堀開削400年
平成25年1月5日 大阪歴史博物館

明治の30年代道頓堀の新春芝居は中座・浪花座ともに正月2日に開場した。元日は俳優やお客様たちの年賀と「大阪の元日は寝正月が多い」。2日初日は一杯にし、ゲンのいいところを見せようというところ。そのため、2日の初日は必ず大入りであった。中座の平場が椅子席になつたのは、大正9年2月のことであつた。大阪の芝居好きはだれでも持つており、劇場の華やいだ雰囲気もしたりたい思いも合わせ持つていた。昭和の初めころは現在の道頓堀も道幅や堺筋から御堂筋までの距離は変わっていないが、雰囲気はまるで違っていた。

南側には五座、といつても弁天座と朝日座は映画館になつていたから角座から西へ中座、浪花座と三座が軒を並べており、向かいの浜側には芝居茶屋が並んでいて、各小屋から向こう側へ数十本繩が張られていて、出演俳優の定紋などを染めた小旗が靡いていた。

歌舞伎の舞台美術・舞台装置・道具は東西で大きく違つていた。江戸時代は本舞台三間の間だけが上方であった。大道具帳には墨一色のものや色彩のものがあり、明治末期の資料が今も残つている。

東京の歌舞伎座や京都の南座にも多くに資料が残つている。



C.G.による明治・大正期の道頓堀街並み復元」をめぐって
藪田 貫氏

明治の30年代道頓堀の新春芝居は中座・浪花座ともに正月2日に開場した。元日は俳優やお客様たちの年賀と「大阪の元日は寝正月が多い」。2日初日は一杯にし、ゲンのいいところを見せようというところ。そのため、2日の初日は必ず大入りであった。中座の平場が椅子席になつたのは、大正9年2月のことであつた。大阪の芝居好きはだれでも持つており、劇場の華やいだ雰囲気もしたりたい思いも合わせ持つていた。昭和の初めころは現在の道頓堀も道幅や堺筋から御堂筋までの距離は変わっていないが、雰囲気はまるで違っていた。

歌舞伎の舞台美術・舞台装置・道具は東西で大きく違つていた。江戸時代は本舞台三間の間だけが上方であった。大道具帳には墨一色のものや色彩のものがあり、明治末期の資料が今も残つている。

東京の歌舞伎座や京都の南座にも多くに資料が残つている。

第一部 基調講演 内容

「明治・大正期道頓堀の劇場建築の復元」
橋寺 知子氏

江戸後期に生まれた中村儀右衛門は劇場の多くの資料を残していた。彼は劇場の建築だけでなく小学校や病院の建築も行っていた。

道頓堀では明治27年・28年ごろにかけて弁天座を設計し新築。浪花座の大修理と工事を実施。角座の大修理と工事を実施した。大正期には堀江遊郭演舞場を新築につき設計と監督をする。そのほかにも多くの劇場を設計建築した。

道頓堀は汚いまちと言われる。それは道頓堀に寺が無くなつてしまつたことと関係している。聖と濁があるが、聖が無くなるとまちが荒れていくのが現在の道頓堀ではないかと思う。

今回関西大学で道頓堀のC.G.を作つたが、建物をしっかりと復元できたのは画期的なことだと思われる。この町があまりにも美しくレベルの高い感性を持ったまちであったので、多くの人をこのまちに引き付けていただろう。

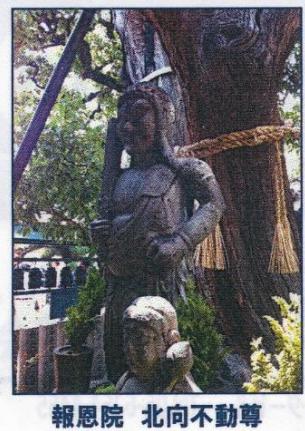
他のまちでは時代とともに盛り場が変わつていったのだが、この道頓堀は長い歴史の中で全然変わらず盛り場であつたというのは大きな特色といえる。

第二部 パネルディスカッション

「江戸から明治・大正期の道頓堀と芝居」
道頓堀と芝居
藪田 貫氏 橋寺 知子氏 児玉 竜一氏

歌舞伎の舞台美術・舞台装置・道具は東西で大きく違つていた。江戸時代は本舞台三間の間だけが上方であった。大道具帳には墨一色のものや色彩のものがあり、明治末期の資料が今も残つている。

東京の歌舞伎座や京都の南座にも多くに資料が残つている。



② 報恩院（北向不動尊）
報恩院（ほうおんいん）は大阪市中央区にある真言宗醍醐派の仏教寺院。山号は高津山。良遍上人が大阪の上町台地の佳き地を選び、現世利益の不動明王の世相にあつた北向不動明王を造立したことが、始まりと伝えられている。



生國魂神社
生國魂神社は、大阪府大阪市天王寺区にある神社。式内社で、旧社格は官幣大社。難波大社ともいう。地元では生玉（いくたま）さんの通称で親しまれている。

① 生國魂神社

③ 道頓堀川源流の梅川（高津公園）

⑥ 法案寺南坊

⑧ 安井道頓・道ト紀功碑

■歴史ウォーキングルートと解説（生國魂神社～大正橋・安政大地震両川口津浪記碑）

⑤ 東堀川・道頓堀川合流地点
(上大和橋・下大和橋)
東横堀川の最下流にある橋。上大和橋から直角に西へ曲がつて道頓堀川になつている。元和元年（1615年）に道頓堀川が開削後、この地は物資の集散地として荷車などが集まる所となり、東横堀川西岸道路の延長上に大和橋が架けられた。

元和5年（1619年）に江戸幕府によって架けられた。長さ約4メートル、幅約7メートルの木造橋で、江戸の日本橋と同じく公儀橋であった（道頓堀川では唯一）。

明治10年（1877年）に鉄橋になり、明治34年（1901年）と明治45年（1912年）に架け替えられた。

日本橋（にっぽんばし）は、道頓堀川に架かる橋。江戸幕府によつて架けられた。日本橋（にっぽんばし）は、道頓堀川に架かる橋。元和5年（1619年）に江戸幕府によって架けられた。長さ約4メートル、幅約7メートルの木造橋で、江戸の日本橋と同じく公儀橋であった（道頓堀川では唯一）。

明治10年（1877年）に鉄橋になり、明治34年（1901年）と明治45年（1912年）に架け替えられた。



⑦ 日本橋（紀州街道・公儀橋）
日本橋（にっぽんばし）は、道頓堀川に架かる橋。元和5年（1619年）に江戸幕府によって架けられた。長さ約4メートル、幅約7メートルの木造橋で、江戸の日本橋と同じく公儀橋であった（道頓堀川では唯一）。

日本橋（にっぽんばし）は、道頓堀川に架かる橋。元和5年（1619年）に江戸幕府によって架けられた。長さ約4メートル、幅約7メートルの木造橋で、江戸の日本橋と同じく公儀橋であった（道頓堀川では唯一）。



⑨ とんぼりリバーウォーク
慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府中天皇を右座に祀る。貞観8年（866年）、勅命により難波高津宮の遺跡が探索され、その地に社殿を築いて仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

④ 高津宮

⑤ 東堀川・道頓堀川合流地点

⑥ 法案寺南坊

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

① 生國魂神社

③ 道頓堀川源流の梅川（高津公園）

⑥ 法案寺南坊

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

② 報恩院（北向不動尊）

④ 高津宮

⑤ 東堀川・道頓堀川合流地点

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

① 生國魂神社

③ 道頓堀川源流の梅川（高津公園）

⑥ 法案寺南坊

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

② 報恩院（北向不動尊）

④ 高津宮

⑤ 東堀川・道頓堀川合流地点

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

① 生國魂神社

③ 道頓堀川源流の梅川（高津公園）

⑥ 法案寺南坊

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

② 報恩院（北向不動尊）

④ 高津宮

⑤ 東堀川・道頓堀川合流地点

慶長17年（1612年）に南端が堀止になつていた東横堀川と西横堀川を結んで木津川へ注ぐ堀川の開削が開始され、摂津国住吉郡平野郷の安井道頓（成安道頓）が新川奉行に任命された。しかし、大坂の陣で道頓が戦死したため、従弟の安井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが仁徳天皇を祀つたのに始まる。明治5年に府に列格した。

当初は新堀・南堀川・新川などと呼ばれていたが、大坂城主の井道ト（どうぼく）や安藤藤次（平野藤次）らが引き継ぎ、元和元年（1615年）に完成した。

松平忠明が道頓の死を追悼して、相当な私財が投じられたことや功績を鑑み「道頓堀」と命名した。

① 生國魂神社

③ 道頓堀川源流の梅川（高津公園）

⑥ 法案寺南坊